

平成27年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

「栃木市大柿地区」

第2回活動報告 H27・10・3(土)

第2回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が10月3日、栃木市都賀町大柿のかたくりの里近くの水田などで、佐野短期大学生や大柿地区グリーンツーリズム推進協議会員ら27人が参加して行われました。

今回のカレッジには、佐野短大の栄養フィールド（学科）や児童フィールド、フードフィールドの1、2年生11人が参加し、ヒガンバナ群生地から球根を掘り起こして、同地区内の国道近くの水田周りの土手に球根を植える作業を行いました。また、サツマイモやラッカセイの掘取りなども体験してもらい、学生たちは「自然に囲まれ楽しい体験ができた」「土いじりの大変さがわかった」「また機会があったら参加したい」などと感想を語っていました。

カレッジ活動を受け入れた同地区協議会の青木副会長は「孫と近い年ぐらいの若い人たちと楽しい時間を過ごせてよかった。ぜひホタルの時期やヒガンバナの開花期にまた訪れてほしい」と話していました。



歓迎のあいさつをする青木副会長（右端）



意気込みを述べる学生代表（右から4人目）



ヒガンバナ球根の掘取りを行う学生たち



球根の植付け作業



サツマイモの掘取り体験





地元の人と一緒にカレーライスの昼食



交流会で一人ひとり感想を述べる学生たち